



立校会 学窓 高等 津高 卓窓 発行 者 岐中 同

創立90周年スタート

旭陵会の総会が開かれ、1年後に迫った創立90周年事業の準備委員会の発足が決議された。また、これへの対応を含めて、同窓会の活性化を図るために、本部役員増員が決議され、人選に入ることとなった。

旭陵会(同窓会)の牽制しながらの議論となり、なかなか面白い展開となった。とりある5月の第2土曜日である8日に駅前「勝宗」で開かれた。この総会には、関東支部と関西支部からも出席して頂き、文字通りの本部総会となった。

また、旭陵会本部役員は現在16回生(昭和40年卒)までしかないため、役員が必要性が提起された。同窓会が熱心な議論がかわされた。いつ記念式典を行うかは、次期会長の入選ともからむため、出席した役員が互いに

第五号発刊にあたり



同窓会長 郷原幸夫

「旭陵会だより」第5号を発刊するに当り一言「挨拶申し上げま

途中を切り上げて出席して頂いた関西支部長の中川鮮先生(6回生)のユーモア溢れる挨拶でスタートし、また、関東支部を代表してはるばる出席して頂いた伊藤紀子さん(4回生)にも挨拶をして



総会を終了後、懇親会に移った。今年の幹事は3回生と23回生で、恩師を交えてのなごやかな懇親会は夜の更けるのも忘れるようであった。

懇親会は、九州出張における学校再配置により、旧岐阜県中津高等学校(中津高等学校)と旧岐阜県中津実業高等学校(中津商業高等学校)と中津農林高等学校を統合して男女共学の普通、商業、工業課程を併置した総合高等学校として発足、岐阜県立中津高等学校としたのであります。

九十周年に逢いましょう



増田義明 学校長

大寒というのに中津市のシンボル恵那山は、山頂付近がわずかに薄化粧をしている程度ですがこのまま春になることはなからうと思ひます。

名古屋地区会の新会長に 成瀬聖慈氏

11月13日名古屋地区会の総会が東山会館で開催された。初代会長の四俣達哉氏から成瀬聖慈氏が新会長に選出された。成瀬新会長は挨拶のなかで創立90周年事業への協力と名古屋地区会の一層の充実の決意を語った。

低気圧の接近で雨模様のなか、11月13日に名古屋・東山会館において「名古屋地区会」の総会と懇親会が開催された。180名という大勢の出席者を得て、郷原会長と増田校長の挨拶に始まり、大きな声で

諸先輩の方々、そして近年益々発展の度を強めてきた、関東、関西、名古屋の各支部のご協力を求めながら、中津川在住の本部役員、幹事の力を結集して90周年式典及び記念事業を成功させたいと思ひています。

でも、同じ釜の飯を食った仲間であることを確認し合い、声高らかに高鳴るや黎明の鐘を合唱して、中津高校の卒業生ここにありを実感することができました。中津高校の現況については六面に記載してありますが、東濃東部の進学校として、着実に実績を積み重ねております。

心配も杞憂に終る程の出席者を得ての設立総会と懇親会には、本当にほっとしました。今回の総会には、前回を上回る出席者を見ることができ、六名の恩師の先生方は、卒業生と区別がつかぬ程にお若く、お元気に出席して頂き、本当にありがたかったです。

名古屋地区会 前会長 四俣達哉 先生、小川一平先生、富田栄三郎先生、花田春雄先生、山田喜七郎先生が出席され、大変お元氣な姿に安心をいたしました。

母校は平成七年に創立九十周年を迎えることになりまして、名古屋地区会も同窓会組織の一員として、その期待に添えるように発展したいものです。



関西支部の近況

支部長 中川 鮮

平成五年六月二十七日、大阪北浜のライオンズホテルにて、同窓会本部、中津高校より多数の御来賓をおまわし、華やかに展開しました。

総会は、七回生大野巨氏の司会のもと、一年間の活動報告が満場一致で議決され、本部から駆けつけた郷原会長と増田校長の挨拶の後、和やかななかで懇親会へ移りました。

参加者は七十五名、今回も恒例の岩瀬喜代



関西支部総会に出席して

22回生 可知 陸人

中津川からは恩師の青山フユ先生、糸魚川の忠平先生、同窓会から前会長で現在は顧問の伊藤成章さん、会長の郷原幸夫さん、副会長の丹羽宏造さん、同窓職員を代表して学校長の増田義明、大山勝、可知陸人の八名が招かれて参加することになり、中央本線は普通電車で、名古屋からは新幹線で大阪へ向かった。道中、糸魚川先生は一人別行動を取られた。私は朝中津川の駅で先生の姿をお見かけしたので、一緒に帰るものとはばかり思っていた。

新大阪駅に着き、一行七名は「さて会場までどのようにして」ということになったが、伊藤前会長、郷原会長の道案内で地下鉄に乗

子さんの指導で「木曾節」、「ほつちよせ」が会場に流れ、故郷に思いを馳せる情景がありました。学校長増田義明先生の「上海帰りのルル」は、昭和二十年代後半に旭ヶ丘へ通学した同窓生には当時街の中に流れていたメロディーだけに懐かしかったです。それにしても、校長先生のお上手なものには出席者一同驚きを禁じ得ず「校長先生にしておくにはモッタイナイ」の声も出るほどでした。また、支部会員の丹羽さだ先生（高女二十八回生）の著作「花はさかりに」の紹介があり、参加者より祝福がありました。

糸魚川忠平先生は、かつて学生時代をこの北浜に近い京阪電車沿線で生活され「懐かしい場所だ」と言っておられ、この日も会場近くにある「適塾」を見てもらえ、感慨深く話をされていました。

高女十六回生の坪田志げるさんが、高女校

関東OB会報告

12回生 梅村 薫

第6回関東OB会が恒例によって11月の第1土曜日の6日、ホテル浦島（東京都中央区晴海）で、7回生の幹事のご奮闘で130名の同窓生が集い盛大に開かれました。中津川の同窓会

方、あるいは初対面の方たちも互いに昔話を語り合い、ふるさと中津川を思い出し、感慨深げなご様子であった。同年代の出席者が一人もいなくて場違いのように感じていた私もまた、同じような気持ちで足して会場を後にした。

私はそのとき「無事でよかったな」と思ったのだが、何のことはない、考えたみれば、先生は学生時代大阪に住んでおられたのだ。

しても、校長先生のお上手なものには出席者一同驚きを禁じ得ず「校長先生にしておくにはモッタイナイ」の声も出るほどでした。また、支部会員の丹羽さだ先生（高女二十八回生）の著作「花はさかりに」の紹介があり、参加者より祝福がありました。

糸魚川忠平先生は、かつて学生時代をこの北浜に近い京阪電車沿線で生活され「懐かしい場所だ」と言っておられ、この日も会場近くにある「適塾」を見てもらえ、感慨深く話をされていました。

高女十六回生の坪田志げるさんが、高女校



琵琶との出会い

15回生 林 恵子

卒業後、早、三十年、旭ヶ丘の坂道の登り下りを懐しく思い出してあります。

終戦の年生まれ私達は、受験戦争も今程ははた、く、のんびりとした三年間でした。

山と河と緑に囲まれた中での勉強は、子供の成長と共に、その頃の自分と重ね合わせ、感慨深いものがありました。

卒業後、間もなく、筑前琵琶との出会いがあり、現在に至っております。

もる話に花がさき、再会の喜びの中でクラスが重ねられた。

あつという間の2時間過ぎて、最後に中津川から参加した私達全員を紹介いただき、来年度の幹事にあたる8回生の参加者を壇上で激励して散会し、別れの2次会へと繰り出しました。

当日の参加者を卒業年度ごとにあげると次の通りである。ただし、今年度の案内は12回生まで。

特1回生	1名
1回生	7名
2回生	16名
3回生	16名
4回生	16名
5回生	9名
6回生	12名
7回生	8名
8回生	14名
9回生	10名
10回生	5名
11回生	4名
12回生	1名
14回生	1名

イギリス訪問

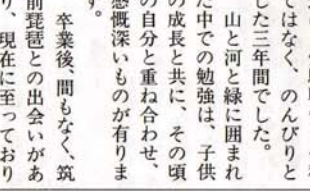
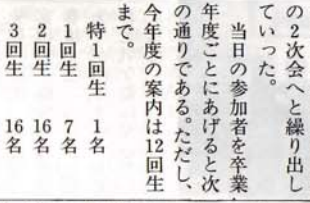
29回生 今井 景色

私達五十三年度卒業生もはや三十歳の中ばを迎えるに至っております。皆さん各界にて御活躍のことと思っております。同窓会の学年委員という重要な役割を担いでいる私も、子育てという世界で大活躍しております。そのため、一般社会に對しては、井の中の蛙状態であります。各クラス同窓会の様子もわかりません。

そんな私にさえ、その

私達五十三年度卒業生もはや三十歳の中ばを迎えるに至っております。皆さん各界にて御活躍のことと思っております。同窓会の学年委員という重要な役割を担いでいる私も、子育てという世界で大活躍しております。そのため、一般社会に對しては、井の中の蛙状態であります。各クラス同窓会の様子もわかりません。

そんな私にさえ、その



● The Nakatsugawa Ladies Choir - singing in Lincoln Cathedral.

They have been saving up for two years for the seven-day trip to Britain.

After a two-day visit to London, the choir travels north to Lincoln and lunch with members of Nettlehan Women's Institute.

They will also have a brief tour of Lincoln before going on to Scotland, where they will sing at a church in Edinburgh.

I understand Miss Muriel

dreams are true

He was so impressed by what he heard that when he returned home, he began making plans for his own choir to sing in the Minster.

And on Monday, more than 50 members of the choir - whose ages range from 27 to 78 - will sing a programme of Japanese folk songs, in the Cathedral from 3.00 to 3.30pm.

Back home, many of the women are factory or construction workers, but in their spare time they get together to sing.

They have been saving up for two years for the seven-day trip to Britain.

After a two-day visit to London, the choir travels north to Lincoln and lunch with members of Nettlehan Women's Institute.

They will also have a brief tour of Lincoln before going on to Scotland, where they will sing at a church in Edinburgh.

I understand Miss Muriel

Hatton

Japanese choir

The Nakatsugawa Ladies Choir, a group of Japanese housewives, with their conductor Takemi Yamamoto are travelling to the British Isles to sing and see the sights and during their visit they are to sing in Lincoln Cathedral on Monday, August 16. The arrangements have been made locally by Miss Muriel Green of Forest Lodge, Hatton, a friend of Takemi and she extends a welcome on the choir's behalf to all to join them at the Minster from 3pm to 3.30pm.

美術部OB展の発足と三年間の歩み

13回生 花田勝太郎

平成三年度かねてより地元在住で作家活動を行なっているOBの間に、ぜひ恩師を囲んでOB展を行いたいと言っお願いを現された。

第一回は恩師松原鉄之先生、笠木茂(S二七年卒)、花田勝太郎(S三七年卒)、洞田和雄(S四一年卒)、滝川英明(S四四年卒)の五名で中津公民館市民ギャラリーにて八月一日から一日七日間開催が出来る。

第二回は恩師松原鉄之先生、笠木茂(S二七年卒)、花田勝太郎(S三七年卒)、洞田和雄(S四一年卒)、滝川英明(S四四年卒)の五名で中津公民館市民ギャラリーにて八月一日から一日七日間開催が出来る。

平成四年度四月に正式にOB会結成の準備会を持ち、五月一日中津高校同窓会館にて設立総会を開く事が出来、次のことが決議されました。



設立懇親会



設立総会後の祝賀会に移り、同窓会会長の郷原幸夫氏、恩師糸魚川忠平氏など来賓の方々を迎えて更科にて盛大に開かれた。

第二回OB展は八月二日、五日、中津川市コミュニティーセンターにて開くことが出来ました。この年は長年美術部顧問を務めた美術部育ての親松原鉄之先生をメイン展示とし、昭和二十一年度より平成二年度卒までの一八人が参加。八号から一五号まで、陶芸、彫刻、リトグラフなど三五点を展示、尚、開幕の会場で後輩の美術部部員のテッサンの勉強にOB会より増田義明校長に目録と石膏像など七体が寄贈されました。

東京や地元で活躍している作家からプロを指して勉強中の若者趣味で頑張っている人まで、今まで多くの芸術家を輩出している。展覧会を見る市民にも同部の伝統を伝えるものとなり、大好評になりました。

第三回OB展は八月二日、五日本年度は東京で毎年開催し現代美術の最前線で活躍の藤井

コーラス横好症候群

3回生 三宅 鴻

私は今、三十七年間の教師生活を「卒業」しようとしています。この機会に高校時代からの歴史を振り返ってみたいと思います。

私は新制中津高校の三回生として入学しましたが、当時は日本全国が「新憲法」のもとで新しい「文化国家」をつくらうとしていた時代でした。小学生のとき、国民学校初等科の名で軍国少年として育ち、旧制中学に入ると、小三から小六まで、男女別のクラスでしたし、旧制中学は全校生徒が男子ばかりでした。一方、中津高校の前身である中津高女はもちろん女子生徒ばかりでした。そのようにして高校生になった私たちは、初めて「男女共学」を経験したのです。

高校時代の思い出は、主として音楽部に因縁があります。二年生のある日のこと、登校すると、突然楽譜を渡されて、同級生滝川要一君のオルガン伴奏で、全校生徒千五百人の前で「校歌」を歌って紹介をしました。この件については、就職後の

「学区制」で、女学校に押し込められた私が(男尊女卑の精神で育った私たちはこのように感じたのです。)入学当初、何より驚いたのは、オルガン室が並んでいることでした。中学時代は婦室部員で過ごした私でしたが、高校時代は音楽部員として、はるかに有意義な生活を送ることができたのです。土曜日も日曜日、春休みも夏休みも冬休みも、毎日音楽室に通っていました。

今後は展覧会に一人でも多くの参加とご支援や、ご協力をお願いいたします。左記、OB事務局に一報下さい。OB展事務局安部武東 508 中津川市野 0573666280



労働者、宿屋の客役 KOH MIYAKE

若し人達の熱意に圧倒され、時代の先端を行く力強き、幅広い「音楽」に素晴らしの創造活動は、ほんのりとした喜びをまもっています。私にとりては、まさにルネサンスです。

ある日、見知らぬ男性(実は高校教師福井豊海先輩)から声をかけられて、「ぼくは君が二年生のとき、三年だった者だ。校歌を覚えてもらったから君のことを覚えていて」と言われました。という後日談もありました。

三年生のときには、第一回中津川市民音楽祭を一般の音楽協会の祭として開いたり、第一回東濃地区高校連合音楽会を高校生自身で開催したりしました。恵那高校の音楽部と提携して、相手の学校祭に賛助出演する慣例もつくりました。

学校祭や送別会には、合唱のほか、女生徒のピアノ伴奏をしたり、ピアノ伴奏をした、例もつくりました。

天候不順が不況に追い討ちをかけて、厳しい経済状況が続いていますが、皆さんにはお元気で過ごして欲しいと思います。幸い私も元気で走り回っています。これも日頃の皆さんのご支援



このように状況の私たちを見られた先生方からは「あれでは全員浪人だ」と言われまし

また、三年のとき推されて生徒会長を勤めました。この経験が後にいろいろと役立つこととなりました。例えば生徒会顧問をしたときなど。

さて、幸い名古屋大学法学部に入學できた私は、現在名古屋市立大学になっていての滝川大校舎へ、中津川から自動車を通いました。教養部混声合唱団で昼休みに歌うのですが、初めはピアノはもちろんオルガンさえもない部屋で、音叉一本で音をと

川名古屋、岐阜または多治見、美濃加茂、岐阜と乗りついで時間と手数がかります。飛行機なら日本の果て、外国まで行ける時間帯です。これでは果都、岐阜といつても親しみが湧くわけがありません。

最近でこそ車で一時間半の道のりも、公共の乗り物となると中津

一家和楽の地域社会作り

13回生 黒川 捷也

川名古屋、岐阜または多治見、美濃加茂、岐阜と乗りついで時間と手数がかります。飛行機なら日本の果て、外国まで行ける時間帯です。これでは果都、岐阜といつても親しみが湧くわけがありません。

間と喫茶店に入っても水だけで我慢したり、苦勞しましたが、今では楽しい思い出です。大学卒業後、全くの偶然で幸運にも中津高の苗木分校に就職できた私は、エスカルガを続けることができた。その後、多治見女子高校・土岐高校・多治見北高校に勤務しました。多治見に土地を購入することになりました。その間、男声合唱を聞いてもらったこともありました。一方、中津高校のOBを中心に結成したコールエスエルゴの活動を主宰していました。

冬のことですが、金城学院の「メサイヤ」に出演して初めてオーケストラと一緒に歌ったことも、大きな思い出です。名古屋で開かれる合唱の演奏会は舶来・国産を問わず、全て聴きに出かけたものです。一番安い入場券を買ったため、早朝から並んだり、合唱団の仲間

これからの郷土の発展は、広い岐阜県の中での存在感、また、中部全域の中での郷土の在り方を念頭において考えねばなりません。今流行の各種イベントも、そのときだけでは将来性はありませんが、じっくり腰を据えて、オジイちゃん、オバアちゃんをはじめ、親子が仲良く一緒に住める家庭を築き上げていく

これが、本場のこれからの高齢化社会、福祉社会の存り方だと思っています。

私には恵北の若い皆さんや、壮年の皆さんと一緒に考えて、行動し、そして長老の皆さんの永年の人生の経験に教を請い、一家和楽の地域社会を作り上げていくために、微力ながら努力していきたいと思っています。皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

高女二十五回

久しく御無沙汰して... いた中津高女昭和八年三月卒業生の同級会が、平成五年十一月四日瑞浪市釜戸町のJ.R釜戸駅前旅館水月館に於て開催された。

何しろ出席者の皆が「喜の字」の歳で、現天皇陛下が誕生された年で「皇太子様お生れになった」の奉祝の歌を唱ったのを、昨日の様に覚えてを、昨日の卒業以来五十年も過ぎた皆が一同に会するために企画しました。

この会を企画するたため今までの役員の方から、同級の方の消息等をたずねて、同窓会名簿を作り出席者の方々配りに配りました。

また、全員が歳頃ですので「ボケず」に長生きしなはれや(作者不詳)の歌を全員が合唱して笑いました。

参加者は近郷の二十一名の方に集まっていたいただきました。会の途中に福引の企画も入れ、景品も笑をさそう様な品で又大笑いしました。この笑いで、ふと時間が逆のほり、女学校の校舎の中で若い生徒が笑っている様な気持ちになりました。

それは、楽しい会合で時間が過ぎるのを忘れておりました。次の会合での再会を約束し、その機会には全員が元気で集合出来る様に祈り、それまで健康に十分注意する様に、盛会のうちらに散会致しました。

な、今回の幹事役は沢田文江、鶴田うらは沢田釜戸町のJ.R釜戸駅前旅館水月館に於て開催された。鶴田 うら



高女三十三回

私達のクラス会は毎年一回当番は順番で持っています。今年中は津東校出身の当番で福岡町の栗本温泉藤で開かれました。

私は寄宿生ですが、青春の四年間を同じ釜の御飯を食べ同じ部屋で過ごした時代の思い出は忘れがたく毎年のクラス会の前後に必ず集って一泊しつきない思い出にふけります。

今年の寄宿生生のクラス会は、三好さんご夫婦の好意であいの根の茶畑に案内頂き五十年前の私達の女学生時代、あの戦争中の食料増産の一貫として学業の時間を貰ってあげて、暑い夏の日日に草取りさせられ一番多感な時代に戦争への道を強要され、娘らしい衣服を着る事も食べ盛りな

の食事も満足に食べられず、毎日のいつわりの戦争ニュースに踊らされた事がよみがえり感無量でした。背丈程にのび、大きな茶の実をつけて荒れ果てた茶畑を見て、草取りの苦しかった思い出と共に、学生はしっかりと勉強出来る平和の時代の尊さを感しました。市川たづ子

高女四十回

集まり来たり遠き日の旭が丘の顔に戻れる防空頭布と救急袋を左右の肩から掛け茶屋坂を登り下り通学したおさげ髪的女学生達も

六十の坂を越え、一昨年は在学中に果たせなかつた「修学旅行」を京都方面へ敢行、この夏は長良川の鶴飼見物で、お互いの健在と変わらぬ友情を確かめ合いました。卒業学年をご担任下さった青山フユ先生、竹谷勝嘉先生、井口尚輔先生、生がご多忙中を、ご出席下さいませ。中でも竹谷先生は、大谷のあれほど「体力に自信がないが」とおっしゃりながら昔のヤンチャ娘達の顔を見

において下さいました。各先生方から、御在任中やその後のご体験から貴重なお話をお聞きする事ができ、昔と変わらぬ力強いお声や優しい眼差しで、女学生時代の教室での授業にも本芳翠展に分かれ同窓会のフィナーレを盛りあげて散会しました。次会も是非、諸先生方を始め同窓会一同が健康で無事に再会を喜びあう事ができますようにと心が祈りながら来岐の皆様をお送りしました。久代 京

同窓会だより

増田校長就任を祝い激励する会

秋たけなわの10月8日夜、中津高校卒業生の中で母校々長第一号になられた増田義明校長を囲んで地元同級生(昭27年卒第3回生)の有志24名が駅前勝宗に集り、校長就任を祝い且つ激励する会が賑やかに行なわれ

六艘の鶴飼舟を並べ走る篝火明く闇を焦して担任下さった青山フユ先生、竹谷勝嘉先生、井口尚輔先生、生がご多忙中を、ご出席下さいませ。中でも竹谷先生は、大谷のあれほど「体力に自信がないが」とおっしゃりながら昔のヤンチャ娘達の顔を見

増田校長の挨拶を皮切りにアルコールも程々まわり、日頃お互いに地元で居ても疎遠の者とおし、還暦を、現役と人生のお互い交わり、年だけに話もはずみ、又今を去る何年か、高校時代の青春の思い出話、学校の夏休み前後の火事の話など、話はつきなく時のたつのも忘れる一時でした。最後

高三回

女性の解放的な明るい笑顔が印象的

去る4月10日、第3回目の第16回卒業生の「学年同窓会」が開かれました。第1回目は勝宗で、昭和60年に開催。その5年後に苗木狩宿で第2回目が開催され、今回は数えて3回目となる訳です。

在郷の者から、「しばらく聞いてないね」「近いうちにやるか」「集まって相談しようか」と、声が高き上がり、場所は、時間、費用は、二次会では?と在郷幹事が鳩首会談を開き、実現の

運びとなったものです。往復葉書を送るため、住所確認が一番大変な作業で、実家や友達の間をたぐり、できる限りの情報を集めたつもりでも、宛先不明で戻る葉書が10枚近くになりました。責任が重く肩にかかり、サラリーマンなら部下と上司の間にあつて身をケズリ、自営業ならば経営者として社会的責任も重く、公的な役割をこなしつつ、それでも自分を見失う

高十六回

省みて

振かえてみますと、卒業以来すでに四十年も過ぎていました。其の間、いわゆる世の中のしがらみなどを経験し、今日迄生きてきた様な気がしますが、私達の学生の頃は今の専門学校ではなく総合高校で、各科が皆統一された学舎で恐い物しられた元氣一杯の三年間を過ごしたものです。遠い昔の事となり現在では二人の孫がいるおばあさんと云ったところで、幸せな人生を送る事は、難しい事です。私も二

まいと鞭打ち、ストレスの蓄積する我々46、47才の若者達にとって学生時代の思い出は、ビルの街から逃れ、緑の森へ帰る様なものなのではないでしょうか。飛び交う話は皆、学生服とセラー服(?)を着て、若々しさに溢れています。とりわけ、会場を見渡すと、女性達の解放的な明るい笑顔が印象的で、華やかさが席巻しています。思い出の鎖が70名もの仲間を又、中津川に呼び集めました。二次会も含め、4、5時間の旧交を暖め、昭和21、22年生まれの若者は、また翌日家庭へ、戦場へと帰ってゆきました。

運びとなったものです。往復葉書を送るため、住所確認が一番大変な作業で、実家や友達の間をたぐり、できる限りの情報を集めたつもりでも、宛先不明で戻る葉書が10枚近くになりました。責任が重く肩にかかり、サラリーマンなら部下と上司の間にあつて身をケズリ、自営業ならば経営者として社会的責任も重く、公的な役割をこなしつつ、それでも自分を見失う

高二十三回

皆に会いたいネ

「同級会開いてほしいネ」街でバツリ出会う級友達の、これが合言葉の様になって、数年たった頃、級友が亡くなった事を知りました。それも十年以上前に。その後半月程して、ガンで亡くなった級友のお葬式がありました。ショックで、自分達がそういう年代になっていく事を改めて痛感した。追いつけなかつた様に、交通事故で半身不随になってしまった級友の話が聞きました。こりやいカン。二、三人に相談し、そこからも声を掛けてもらって7クラス14人の準備会が動き始めたのが、ナント一月半前、僅か二回の会合でした

「皆に会いたいネ」街でバツリ出会う級友達の、これが合言葉の様になって、数年たった頃、級友が亡くなった事を知りました。それも十年以上前に。その後半月程して、ガンで亡くなった級友のお葬式がありました。ショックで、自分達がそういう年代になっていく事を改めて痛感した。追いつけなかつた様に、交通事故で半身不随になってしまった級友の話が聞きました。こりやいカン。二、三人に相談し、そこからも声を掛けてもらって7クラス14人の準備会が動き始めたのが、ナント一月半前、僅か二回の会合でした

運びとなったものです。往復葉書を送るため、住所確認が一番大変な作業で、実家や友達の間をたぐり、できる限りの情報を集めたつもりでも、宛先不明で戻る葉書が10枚近くになりました。責任が重く肩にかかり、サラリーマンなら部下と上司の間にあつて身をケズリ、自営業ならば経営者として社会的責任も重く、公的な役割をこなしつつ、それでも自分を見失う

省みて

4回生 八幡志津子

人の子供に恵まれ幸せな日々を送って参りましたが、ある日突然夫を亡くし、幸せな家庭も一瞬にして消え去りました。夫三十九才でした。私の第三の人生が二人の子供と共に始まったのです。中学校二年生と小学校五年生、これから父親が必要な大事な時、私は歯をくいしばり二人の子供をお父さんみたいな子と云われない様、毎日懸命に生きて参りました。夫と同じ職場に働く事ができ、この春五十八才で無

が、なにせベストメンバが揃っていたおかげで(あのお厚い同窓生名簿にも活躍して頂きました)三〇五名中一〇七名(物故者五名)の出席を得、記念写真と最新同級生名簿付きで会費六千円、二次会費二千円という画期的同級会となりました。乾杯、暫くの間の談笑の後の、二時間も続いた全員の近況報告と多少のCMを、立ちっぱなしなのに静かに温かく感じしたり安心(?)したりしながら聞いてくれた皆の姿に、同級生の良さを感じました。最初はその外見の変貌に戸惑って、二言三言目には二十二年前の顔がグアッてきて、気分はずっかり18才。あの頃は、クラスが違ったりして挨拶さえした事になかつた人と親し

事に退職の日を迎える事ができました。今日迄の人生は、廻りの皆さんの支えがあったから乗り切る事ができたのです。感謝の気持ち一杯です。夫が揃って孫の顔を見る事の幸せそんな、なんでもない幸せすら人生の中では難かしいのです。その時々々の現実を受け入れ、より良い人生を送りたいものです。今は一人の孫に恵まれて幸せを感じています。娘の嫁ぎ先である大阪の空の下で、今日迄の人生を振りかえて参りました。

皆様もどうぞお幸せであります様、お祈りいたします。

が、なにせベストメンバが揃っていたおかげで(あのお厚い同窓生名簿にも活躍して頂きました)三〇五名中一〇七名(物故者五名)の出席を得、記念写真と最新同級生名簿付きで会費六千円、二次会費二千円という画期的同級会となりました。乾杯、暫くの間の談笑の後の、二時間も続いた全員の近況報告と多少のCMを、立ちっぱなしなのに静かに温かく感じしたり安心(?)したりしながら聞いてくれた皆の姿に、同級生の良さを感じました。最初はその外見の変貌に戸惑って、二言三言目には二十二年前の顔がグアッてきて、気分はずっかり18才。あの頃は、クラスが違ったりして挨拶さえした事になかつた人と親し

旭陵会総会案内

旭陵会総会案内

平成6年度の総会は創立90周年の記念行事計画を中心に、例年の通り5月の第2土曜日に開催します。

期日 5月14日(土) 午後4時より

場所 勝宗(予定) 会費 五〇〇〇円 幹事 4回・14回生

